

PAT-NO: JP357147254A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57147254 A
TITLE: ELECTRONIC COMPONENT PART
PUBN-DATE: September 11, 1982

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
KOMIYAMA, AKIRA

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MITSUBISHI ELECTRIC CORP N/A

APPL-NO: JP56031948
APPL-DATE: March 6, 1981

INT-CL (IPC): H01L023/00
US-CL-CURRENT: 257/E23.179, 382/182

ABSTRACT:

PURPOSE: To efficiently and accurately identify the display of an electronic component part by describing the display on the electronic part with a symbol capable of readily reading and recognizing by a machine.

CONSTITUTION: A display is described on the surface of an integrated circuit element as an electronic part with a symbol 3 capable of reading and recognizing by a machine. The symbol used for the display includes a bar code 3, a letter of OCR-A format 4. In this manner, the display described on the electronic part can be readily, rapidly and accurately read and recognized with a simple and inexpensive machine.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-147254

⑤ Int. Cl.³
H 01 L 23/00

識別記号

庁内整理番号
6851-5F

⑬ 公開 昭和57年(1982)9月11日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 電子部品

① 特 願 昭56-31948

② 出 願 昭56(1981)3月6日

③ 発 明 者 児見山暁

鎌倉市上町屋325番地三菱電機

株式会社計算機製作所内

⑦ 出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2
番3号

⑧ 代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

電 子 部 品

2. 特許請求の範囲

電子回路を構成するために用いられる電子部品において、識別のために上記電子部品上に記入する表示を機械にて自動読取認識が可能な定められた記号体系に基づいた記号を用いて表示したことを特徴とする電子部品。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、電子回路を構成するために用いられる電子部品、殊に識別のためにその表面に記入された表示記号を形成した電子部品に関するものである。

一般にこの種の電子部品は外形や外観からだけではその持つ機能を知ることは困難であるため、その表面に仕様あるいは型番等といった種々の表示を記入しておくことが必要である。しかしながら従来の電子部品は例えば第1図に示す如きものであつた。図において、1は電子部品の一つであ

る集積回路素子、2は同素子上に記入された表示である。

この図の例からも明らかなように、従来の電子部品の表示は、人間が目視で容易に判断が可能となるように日常生活で用いられる言語の文字あるいは数字等を用いており、特に機械による自動読み取り及び認識を行うということに關しては考慮がはられていなかった。

従つて従来の電子部品は上述したような表示記号を用いているので、ある一つの電子部品上に記入されている表示を調べようとする場合に、機械を用いて自動的にこれを行おうとすると表面に表示されている文字を自動読取認識するためには大変に複雑で高価な装置が必要であり、実用化が困難であつた。また、目視でこれを行う方法では作業能率が悪く、しかも表示そのものが文字や数字の羅列的なものであるために誤りやすく正確さに欠けるなどの欠点があつた。

この発明は上述した従来例の欠点を除去するためになされたもので、機械によつて容易に読取認

識が可能な記号を用いて表示を記入することにより、電子部品上に記入されている表示の識別を単純で安価な機械を用いて効率よく正確に行うことを目的とした電子部品を提供するものである。

以下、この発明による実施例を第2図ないし第4図にもとづいて具体的に説明する。第2図において、1は従来例と同じ集積回路素子、3は機械によつて容易に読取認識が可能な公知の記号体系であるバー・コードを用いて記入された、同素子上の表示である。

なお、上記実施例では機械にて自動読取認識が可能な記号としてバー・コードを採用したが、他の記号として、第3図に示すように、やはり公知の記号であるOCR-A字体の文字4を用いてもよい。この場合には目視によつても表示の判読が可能である。また、第4図は通常の文字2とバー・コード3との2種類の記号を用いて表示を併記した例であり、上述した実施例と同様に目視によつても表示の判読が可能である。

以上詳細に説明したように、この発明によれば

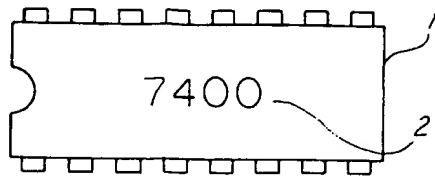
電子部品上の表示を機械によつて容易に読取認識が可能な記号を用いて記入したので、電子部品上に記入されている表示を単純で安価な機械を用いて容易に素早く、しかも正確に読み取り認識することが可能である等の効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

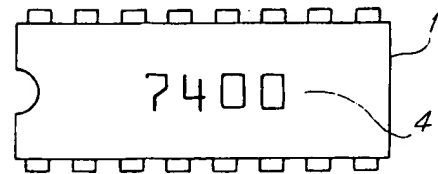
第1図は従来例の電子部品の一例である集積回路素子を示す平面図、第2図はこの発明の一実施例による集積回路素子を示す平面図、第3図、第4図はこの発明の他の実施例による集積回路素子を示す平面図である。

1……集積回路素子、2、3、4……表示。

特 許 出 願 人 三菱電機株式会社
代 理 人 葛 野 信 一 外1名



第1図



第3図



第2図



第4図